

【株主さま専用Webサイトにてお受けいたしました事前質問へのご回答】

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第67回定時株主総会の開催にあたり、株主さま専用Webサイトにてお受けしておりました事前質問においては、多数のご質問をいただき、誠にありがとうございました。

株主の皆さまから事前にいただいたご質問のうち、特に株主様のご関心が高いと思われる3点につきまして、本総会の中でご回答いたしました。

よろしくお願い申し上げます。

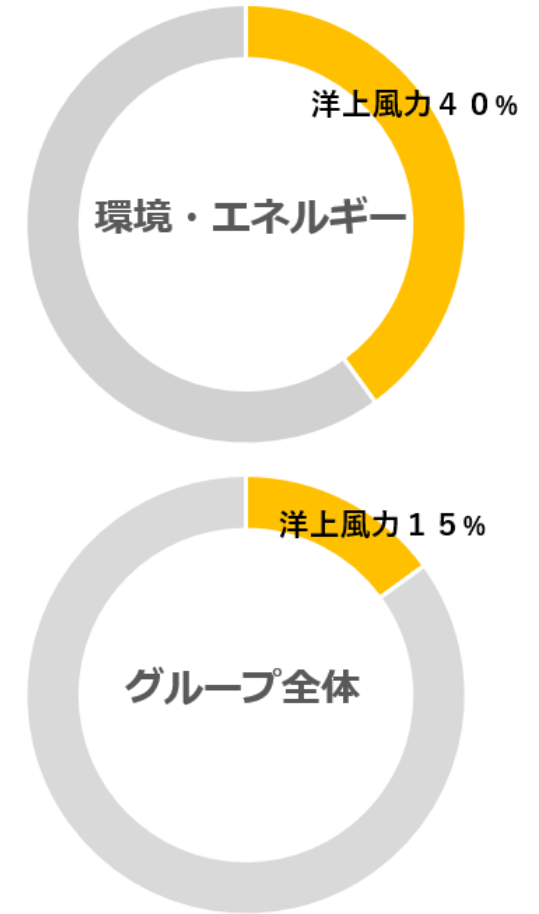
質問 ①

御社はサステナブル経営を実践され、洋上風力関係で脱炭素に大いに貢献されていると思います。

洋上風力関係における、脱炭素への貢献と事業収益面について今後の展望をお聞かせ下さい。

- ◆ 当社は、サステナブル経営を重視し、洋上風力関係で脱炭素に貢献することを目指しています。
- ◆ 洋上風力発電は、地球温暖化防止に大きな役割を果たすエネルギー源として注目されていますが、当社はこれまで、リソースの拡充や技術開発を積極的に行い、海底地盤調査の品質向上と高度化に取り組み、洋上風力の黎明期を支えてきました。

- ◆ その取り組みは、事業者からの高い評価と厚い信頼に繋がり、国内ほぼ全ての事業区域で調査を行うまでに成長しました。
- ◆ 事業収益面では、2023年の売上高は、環境・エネルギーセグメントの約40%、グループ全体の約15%を占めるまでに拡大しました。



- ◆ 今後は、浮体式に向けた洋上風力サービスを強化するとともに、海の環境・経済・社会のニーズに合わせた新たなサービスを創出し、持続可能性に配慮した事業拡大を進めながら、ブルーエコノミーの促進と収益の拡大を目指していきたいと考えています。

質問 ②

新しいセグメント「国際」を設け、積極的に海外事業を展開していくときに、競争優位性を保つ手段、また脅威の競争相手はどこと考えているか教えてほしい。

- ◆ 機器メーカー子会社各社は、世界のトップメーカーの一角を占めており、その製品群は高品質が評価され、欧米・中東・アジアの国々で幅広く販売されています。

<機器メーカー各社の主な製造機器>

地中埋設物探査用磁力計(爆弾探査等)製造	: Geometrics社
地震防災用地震計及び関連機器製造・サービス	: Kinematics社
鉄筋探査及び地下埋設物探査用機器製造	: GSSI社
ボーリング孔内検層機器製造・サービス	: RobertsonGEO社

- ◆ 調査設計コンサルタント会社である、Fong Consult社・FC Inspection社・Geosmart社のあるシンガポールでは、2040年までに新たな地下鉄建設、空港拡張、港湾建設等の大規模インフラプロジェクトが目白押しで、公共投資の高い伸びが期待されていますが、政府機関、外資系・日系・地場ゼネコンとの取引を行う中で、他の設計・施工・エンジニアリング会社との価格競争状態にあります。
- ◆ そのため、応用地質がもつ地盤に関する先進的なセンシング技術を現地に展開し、シンガポール子会社の業務に付加価値を付け、競争優位性をアップしていきたいと考えています。

質問 ③

**御社は、株主向けの施設見学会を実施しないのでしょうか？
他社では、研究所や主要な設備の見学会を実施しています。
御社の測定技術を体験したいと思います。**

- ◆ 機関投資家を対象とした施設見学会について、2024年中の実施を計画しております。
- ◆ 下記は2022年に実施した、機関投資家を対象とした見学会の様様です。当時は、さいたまのコアラボ試験センターとつくばの研究施設を見学していただきました。



さいたまコアラボ試験センター(2022.3)



つくば研究施設(2022.9)

- ◆ 今年は、「OYOフェア2024」を下記にて実施いたします。

開催日：2024年7月30日(火)・31日(水)
会場：秋葉原UDX

- ◆ コロナ期間中はWeb開催のみでしたが、今年「リアル開催」となります。フェアでは、当社のサービス内容紹介や計測機器の展示・デモ、セミナー開催を予定しております。詳細が決まり次第、当社Webサイト等でご案内差し上げます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



昨年Web開催したフェアの画面